

大切な宅地を守るために

宅地災害が起きると、大切な財産だけでなく、時には生命さえも失われることがあります。さらに、その被害は近隣に及ぶことがあります。

宅地災害を防ぐためには、日頃から所有する宅地・擁壁ばかりでなく周囲の宅地や地形にも気を配り、気になる点があればお住まいの市町村へ相談しましょう。

あなたの宅地は安全ですか？

宅地に擁壁はありますか？

斜面地の宅地では、特に擁壁の安全性が重要です。擁壁は定期的に点検しましょう。

斜面（がけ）の上部や斜面上に水が溜まっていますか？

斜面の上部や斜面上に水が溜まっていると、土に水が含まれて崩れやすくなります。また、斜面の途中から水などが湧き出ている場合は、不安定な状態である可能性があります。

斜面（がけ）上に不安定な岩などがありますか？

斜面上に不安定な岩があると災害時に落石する恐れがあります。

斜面（がけ）上に大きな木はありますか？

斜面上に不安定な大きな木があると台風など風の強い日には木が揺さぶられて、斜面に亀裂が入り不安定な状態となることがあります。

コンクリートやブロックの擁壁なら大丈夫と思い込んでいませんか？

擁壁は、その場所や目的に応じて設計や工事を行いますが、①適正な設計や工事を行ったが、歳月を経て老朽化しているもの、②見た目には丈夫そうに見えても適正な設計や工事を行っていないもの、③擁壁を増積みしたものなど、危険な状態の擁壁もあります。

国土交通省より公表された「我が家のチェックシート（案）」を協議会のホームページ（<http://www.hisaitakuti.jp/download.html>）に掲載しています。ご自宅の擁壁をチェックしてみましょう。

擁壁にひび割れやたわみが発生していませんか？

擁壁クラック（≡ひび割れ）の原因は、擁壁に無理な力が影響したためにひび割れが生じて出来たもの（コンクリートの劣化や設計想定外の圧力等が原因）が考えられ、特に大きなクラックが発生している場合は出来る限り早く修復する必要があります。

練積造擁壁は、コンクリートを接着剤として石やブロックを現場で一つずつ積み上げているため目地が出来ます。この目地部分は、ほかの部分より強度が弱いため、大きな力が加わった場合に目地が壊れ、石やブロックにずれが生じます。

擁壁の裏側で発生する土圧（土の圧力）や水圧が部分的に増すことで練積造擁壁が前方に押し出されることを「ハラミ出す」といいます。この状態の擁壁は不安定な状態といえます。



排水施設は大丈夫ですか？



擁壁には、水抜き穴（一般には直径75mmのパイプ）が、擁壁の前面に設置されています。これが不足していると擁壁の背後で水が溜まり水圧がかかり、擁壁が危険な状態になるからです。水抜き穴の点検方法は、水抜き穴をのぞき「ゴミが詰まって水の流れを阻害していないか。」「土が流れ出ていないか。」等をチェックします。土が流れ出ている場合や、泥水が流れ出てきている場合には、擁壁の裏側の土が不安定になっている場合があり、危険な状態である可能性があります。